

実践的教育相談講座(鳥取)

## 気になる子への対応と 学級集団づくり

名城大学 曾山和彦

2010.6.17

## 実践知を学ぶ・真似る

- 巡回訪問等を通して、「他校に伝えたい」と感じる研究・実践に出会う。

・授業づくり(A小学校、B高校)  
・人間関係づくり(C小学校、D中学校)

各校の研究・実践を参考に、各地域の実状、児童生徒の状況に応じた微調整を加えることで、新たな実践知が生まれる。

2

### A 小学校の実践

#### 「どの子もできる授業づくり 三つの原則」

- 授業規律の定着
- リズムとテンポ
- 1指示1動作

ユニバーサル; 普遍的

個への支援が全体の支援につながる

気になる子も含む30名弱の子どもたちが45分集中して学ぶ姿に、「ああ、これが知識生活黄金時代ということか」と感動。担任の先生が練りに練った「作戦」に、子どもたちが心地よく乗っている、そんな印象を受けた。  
(小1授業参観時の、私の観察記録)

3

### B 高校の実践

#### 「ユニバーサルデザインによる授業づくり」

- 教室環境づくり; 掲示物は四カ所留め、等
- 授業づくり; 教科書、問題集のどこをやっているのかを板書提示、等

ユニバーサル; 普遍的  
個への支援が全体の支援につながる

「落ち着きのない生徒が静かにノート記入するようになった」、「授業への取り組み姿勢に意欲が感じられるようになった」等(教師による行動観察記述)

4

### C 小学校の実践

#### 「人づきあいのコツを学ぶSSTタイム」

- 全学年が年間を通じて、毎週金曜の朝の短学活15分を使い、SSTに取り組む。

ソーシャルスキル・トレーニング(対人関係のコツを教える)してみせて 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は育たず

SSTタイム継続により、授業中の子ども同士のかかわり方もとてもよくなった。自分の考えに固執せず、柔軟な考えをもつ子どもが増えてきた。(教師による行動観察記述)

拙著「時々“オニの心”」(明治図書)に詳細を掲載

5

### D 中学校の実践

#### 「全ての学級が取り組むアサーションワーク」

- テーマは「上手な断り方」

アサーション  
自己尊重のコミュニケーションスタイル  
さわやかな自己主張

気になる生徒も含め、全学級の生徒がグループワークやロールプレイに取り組む姿に驚いた。最後に、校長先生から頼もしい発言もあり。「国語・数学の力は秋田にも負けません!」(参観時の、私の観察記録)

6

## 現代の子ども像と 教室でできる特別支援教育

現代の子どもは、ソーシャルスキル、自尊感情が  
落ち込んでいるのではないが

気になる子の存在が、以前よりクローズアップされ  
てきたのではないが

気になる子、及び学級集団の状況を理解した上で、  
次の2点の指導・支援が大切ではないか

1. 人づきあいのコツ(技)を教える
2. 自分に「OK!」と言えるようにする

気になる子どもには、より機会を捉えて

7

## 今、私が小学校中学年担任なら 実践したい授業

学級の子どもたちのソーシャルスキル、自尊感情  
を育むためにどのようなアプローチをしてもよい

教育のプロとして、「教師の腕の見せどころ」

80人の先生方を、小学校4年生の児童に見立て、  
45分間の模擬授業を実施する

題材:「見つけよう! 自分のいいところ、友だち  
のいいところ」(パワーポイント資料は事後配付)

8

## よりよい実践に向け、はじめの一步 ~気になる子を理解する~

- 発達障害について学び、理解することは不可欠。  
家庭環境に関する状況理解も不可欠。

<常に心の中で繰り返してきた「二つの言葉」>  
・うまく指導してもらえなくてもいい。でも、子ども  
のことは理解してほしい。(ある保護者)

・教師は専門家である。教育を行う者が、教育を  
行う子どもについて無知のまま教壇に立つこと  
は、子どもに失礼極まりない。(杉山.2005)

せめて、D.ウィリアムズ等の自伝を読んでほしい

9

## 何故、障害理解が大切なのか 1

~文部科学省調査結果(2002)より~

明らかな知的遅れがないにもかかわらず、学習や  
行動面で著しい困難を示す児童生徒は小・中学校  
の通常学級に6.3%在籍する

通常学級担任への質問紙調査結果。質問項目は、  
LD、ADHD、高機能自閉症に観察される典型的  
特徴から構成。教師が必ず出会う児童生徒である。

10

## 何故、障害理解が大切なのか 2

~ある少年事件から(「僕はパパを」)~

- 少年は精神鑑定で「広汎性発達障害(PDD)」を  
指摘されている。
- 広汎性発達障害(PDD)の人は、言葉の意味  
をそのまま受け取ってしまうことがある(字義  
性)。

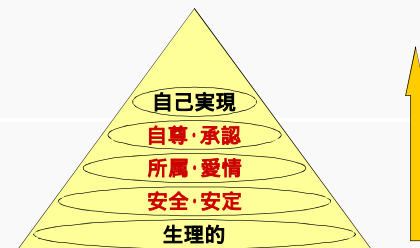
障害が問題や事件を起こすのではなく、周囲の理解・  
対応の不十分さが問題や事件の呼び水になりやすい

11

## 学級・集団づくりを支える理論

~マズローの欲求階層説~

- 第一欲求(生理的)が満たされると、第二欲求  
(安全・安定)が生じ、これも充足されると第三  
欲求へ進む。上位欲求は下位欲求がたとえ部  
分的にせよ満たされて初めて発生する



## よりよい実践に向け、次の一步 ～学級集団の状態を理解する～

- 学習規律(ルール)が定着している学級には「安心」が生まれ、その安心をベースに、集団内に「ふれあい(リレーション)」が生まれる。「安心・ふれあい」のある学級は児童生徒の居場所となり、満足度の高い学級である。

Q-U(河村, 1999)の「学級満足度尺度」は、ルールとリレーションの2軸で児童生徒の学級満足度を測定する尺度。

A, C小(Q-U導入)の学級満足度は、全国平均よりも高い。気になる子が自然に学級に溶け込んでいる。

13

## 子どもの必要とする支援レベル(石隈)

- 1次支援 → 一斉指導に自ら参加できる子ども
- 2次支援 → 一斉指導に参加するには教師のさりげない配慮と支援が必要な子ども
- 3次支援 → 一斉指導に参加するには個別の特別な支援が必要な子ども

Q U学力とのクロス集計表  
全校児童への支援レベル早見表

|                          |                           |                      |   |                         |
|--------------------------|---------------------------|----------------------|---|-------------------------|
| 学習支援レベル<br>(標準学力検査)      | 一次支援<br>学力SS<br>5.0以上     | C - 1                | B - 1                                     | A                       |
|                          | 二次支援<br>学力SS<br>3.5 - 4.9 | E - 1                | D   | B - 2                   |
|                          | 三次支援<br>学力SS<br>3.4以下     | F                    | E - 2                                     | C - 2                   |
|                          |                           | 三次支援<br>要支援群とその周辺の児童 | 二次支援<br>学校生活不満足群の一部<br>非承認群・侵害行為認知群の多くの児童 | 一次支援<br>学校生活満足群とその周辺の児童 |
| 生活支援レベル (Q U・学級満足度尺度の結果) |                           |                      |   |                         |

## 教室でできる特別支援教育 ～ある教師の声;学級集団を育てる～

ADHDの疑いのある小4男児。  
暴言等による他児とのトラブルが頻発

<1年間の指導を終えた担任の声>  
学級全体へのSST実施、「ルールブック(R.クラーク著)」活用等により、周りの子どもを育てたら、対象児童とのトラブルが減った。

参考:親野智可等先生の「ハンカチの話」

## 教室でできる特別支援教育 ～担任の構え;個への配慮はするが深入りしない～

担任は全ての児童生徒にとって、「僕(私)の先生」

40人の子どもと大きな道を歩く

脇道にそれる子どももいる

立ち止まるが、脇道には入らない

いつでも戻れる居場所の確保

「それ方」の程度により校内体制(支援員等)が必要



ハンカチ(学級)を持ち上げる!

## 一斉指導における 個への配慮(諸準備等)例

学習面

・学習レベルに合わせたプリント準備(2,3学年下げた内容等)

行動面

・時々、立ち歩く程度は目をつむる  
・学習、対人ルールを掲示する(ルール違反の時には非言語メッセージを送る)

対象児を馬鹿にする、えこひいきと反発する場合もあるため、学習や行動の「練習」であること等、他児への説明は必要。また、後の対象児保護者トラブルを防ぐため、保護者面談も必要。

「やや深入り、せざるを得ない場合の他児への課題も準備しておく」

### ソーシャルスキル&自尊感情を育む ~ SST & SGE活用(例;本日の模擬授業) ~

Q-Uの「学級満足度尺度」により、学級集団のルール状態(横軸)とリレーション状態(縦軸)を把握する

ルールが不十分な学級(横型)には「行動の教育」であるSST(ソーシャルスキル・トレーニング)が活用しやすい(楽しい遊びの中でルールにふれる、等)

リレーションが不十分な学級(縦型)には「感情の教育」であるSGE(構成的グループ・エンカウンター)が活用しやすい(「いいとこ四面鏡」等)

19

### ソーシャルスキル&自尊感情を育む ~ 伝わる言葉をかける ~

- 東の横綱;「いいところ探し」
- 西の横綱;「対決のアイメッセージ」
- 東の大関;「リフレーミング」
- 西の大関;「？」
- プラスα;「例外探し」

授業、生活場面等における教師の腕の見せどころ

20

### 伝わる言葉のかけ方;東の横綱 ~「いいところ探し」による言葉かけ~

呪文のように「いつでも、どこでも、リソース(資源・財産)、リソース！」(黒沢先生の言葉)

「褒める・勇気づける・認める」をバランスよくかける

<いいところ探しを誤解した! ? >  
ある担任の先生と、気になる子への支援を相談していたときのエピソード。  
・「A君のいいところはどこですか？」(私)  
・「一つもありません」(担任)

ソーシャルスキル&自尊感情に効く

21

### 「褒める」と「勇気づけ」

褒め過ぎに注意!

褒める;「は偉い、上手、すごい」など。全て肯定のユーメッセージ。役割上、上から下の者にかけてられる言葉

勇気づけ;「ありがとう、うれしい、助かった」など。全て肯定のアイメッセージ。役割に関係なく並行にかけてられる言葉

失敗しても自尊心、所属感を失わない態度(byアドラー)

家・教室を「ありがとう」でいっぱいにしましょう!

### 伝わる言葉のかけ方;西の横綱 ~「対決のアイメッセージ」による言葉かけ~

行動: 相手の行動を非難がましくなく描写する

影響: 相手の行動が自分に与える影響を伝える

感情: その影響が自分に抱かせる感情を伝える

ソーシャルスキルに効く

### 伝わる言葉のかけ方;東の大関 ~「リフレーミング」による言葉かけ~

「人生、考え方一つ」(三屋裕子さんの講演から)

- 人見知り
- おしゃべり
- おせっかい

考え方次第で悩みは消える(論理療法 by エリス)

自尊感情に効く

24

### 伝わる言葉のかけ方;西の大関 ~「?」による言葉かけ~

子どもの言動が気になったら、いつも『?』をつけて言葉をかけるといいですよ(ある保母さんの言葉)

<言葉かけの例>

- ・「あれ~? 今の言い方は?」
- ・「君と先生の約束は何だった?」
- ・「さん、何かあったの?」

ソーシャルスキルに効く

25

### 伝わる言葉のかけ方;プラスα ~「例外探し」による言葉かけ~

うまくやれていること(例外)はきっとある!

暴言が多い(問題) → 丁寧な言葉を使うこともある(例外)

例外の責任追及  
なぜ、例外が起きたのかを心に貯めておくことで、声をかけられる

ソーシャルスキル&自尊心に効く

26

### 主な参考・引用文献

- 「特別支援教育のための精神・神経医学」、杉山登志郎・原仁、学研
- 「アスペルガー症候群と高機能自閉症 青年期の社会性のために」、杉山登志郎、学研
- 「特別支援教育を進める学校システム」、河村茂雄・高島昌之、図書文化
- 「気になる子への対応術」、会沢信彦・曾山和彦、教育開発研究所
- 「時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書

「学校におけるカウンセリングを考える会」資料  
<http://www.pat.hi-ho.ne.jp/soyama>

27

### 参考資料

#### 通常学級における特別支援教育が進められるための3条件

- 特別支援教育コーディネーターが機能している
- 校内委員会が機能している
- 個別の指導計画の作成&機能している

### 参考資料

#### 発達障害とは;特徴及び主な障害

- 先天的
- 症状が発達期(乳幼児期に多い)に出現
- 生涯に渡る

基本的には、脳の機能的な問題が原因とされる

- 精神遅滞;認知の側面
- 脳性麻痺、筋ジストロフィーなど;運動の側面
- 発達性協調運動障害;手先の細かな動きの側面
- LD、ADHD、高機能PDD等

通常学級で彼ら自身「困っている子どもたち」

### 参考資料

#### 発達障害者支援法(2005年4月施行)

- 支援法における発達障害定義

自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害をいう。

これまで教育や福祉の支援対象となっていなかったものに対し、国、地方公共団体の支援責務を明らかにした。また、学校教育における支援、福祉増進を目的とするため、対象はやや狭義になっている。

30

参考資料

## LD (学習障害)

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する、の中で、特異な困難がある <教育的LD> disabilities = 困難さ

言語性LD; 言語理解、表出、読み、書きの困難  
非言語性LD; 空間、身体像、社会的知覚の困難

チェックポイント～スキップ、フォークダンス、縄跳びの困難

読み・書き・計算の障害 <医学的LD> disorders = 機能不全

ディスレクシア

31

参考資料

## ADHD (注意欠陥 / 多動性障害)

「不注意」、「多動性」、「衝動性」の三つの問題が見られる  
セルフコントロールの発達障害

前頭葉の活動が不活発 (ドーパミンなどの神経伝達物質の量、働き!?)

実行機能障害、ワーキングメモリーの障害とも言われる

教室で、特に気になる子ども

活性化作用のある刺激剤  
メチルフェニデート

リタリン コンサータ (日本初の治療薬)

参考資料

## PDD (広汎性発達障害)

・三つ組(社会性、コミュニケーション、想像力)の障害を有する  
・「自閉症スペクトラム」と同義  
・以下の5つのPDDがある

・自閉性障害 (\*この中で知的な遅れを伴わないものを、「高機能自閉症」という)  
・レット障害  
・小児期崩壊性障害  
・アスペルガー障害  
・特定不能PDD (\*非定型自閉症と同義)

上記の中で、高機能自閉症、アスペルガー障害、知的な遅れを伴わない非定型自閉症を「高機能PDD」という

33

参考資料

## LDへの基本対応

例、読みの困難がある場合

・教科書を120%に拡大する  
・文章の文節ごとに区切りをつける  
・本人に文節ごとに で囲ませる

ゆっくり、正しく読めるようになった

教科支援の基本、該当学年より2～3学年下げた内容を！<sup>34</sup>

参考資料

## ADHDへの基本対応

脳の実行機能に弱さがあるため、自らの動機付けが困難故に、報酬(ご褒美)で行動をコントロールすることが基本

改善目標の一つ決め、達成したらシールやスタンプの報酬等

「パソコン」というリソースで別人のように変わったA児

主な配慮事項

・注意や叱責の何倍もの賞讃を  
・できていること、できそうなことを賞讃する  
・賞讃、叱責は直後に明確に  
・指示は必ず復唱させる  
・クールダウンの場を設ける 等

35

参考資料

## A児への支援例～やくそくカード

やくそく名前

パソコンが大好きで、得意なA児

シールが5枚たまったら、パソコン15分チケットをもらえ

・朝の歌をみんなと一緒に歌います (シール1枚)  
・集会に本をもたずに参加します (シール2枚)  
・教室でみんなと一緒に勉強します (シール2枚)  
・放送室で先生と一緒に勉強します (シール1枚)

等

がんばり表

参考資料

A児の  
がんばり表

シールを  
もらうぞ!

|   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  |
|---|----|----|----|----|----|
| 1 | 国語 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 |
| 2 | 国語 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 |
| 3 | 算数 | 算数 | 算数 | 算数 | 算数 |
| 4 | 算数 | 算数 | 算数 | 算数 | 算数 |
| 5 | 社会 | 社会 | 社会 | 社会 | 社会 |
| 6 | 社会 | 社会 | 社会 | 社会 | 社会 |

参考資料

A児の自作カード&パスポート

保健室に行きます

職員室に行きます

パスポート

みるくしょう  
4年生 11月10日  
男 たんじょう日 月 日

支援事例

本で教えるソーシャルスキル

周囲の児童の行動変容があり、  
気になる児童(小4)の暴言も改善

ロン・クラーク著  
「みんなのためのルールブック」

人付き合いのコツがイラストを  
通して楽しく学べる。

参考資料

PDDへの基本対応

視覚的な工夫

一度に一つ

予定の伝達

肯定的表現

文化に寄り添う

NHKプロフェッショナルより  
~ 自閉症支援・服巻智子 ~

支援事例

プロフェッショナルの道具; 白いメモ帳

服巻が必ず鞆に忍ばせているのが、真っ白なメモ帳。  
相談内容を聞き取ってイラストにし事実関係を整理する。そしてどうしたら良かったのかを書き添えて、メモを渡す。自閉症の人たちは視覚的な理解・記憶が得意なため、書いて伝えることが大事だという(2007.10.30放送)